モントリオールのジーザス（1989）

JESUS DE MONTREAL

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 カナダ／フランス
色彩 Color
時間 117分
初公開日 1990/03/23
公開情報 デラ

【キャッチコピー】
友だちよ、ありがとう。

【解説】
　１９８９年のカンヌ国際映画祭で批評家賞を受賞した、ドゥニ・アルカン監督による人間ドラマ。教会からジーザスの芝居の上演を依頼されたダニエルは、一緒に演る仲間を探し、五人の人間を集めた。そして初演の夜、モントリオールの街を望む丘の上で上演された彼らの受難劇は、ユニークな解釈と趣向で、集まった観客や評論家の拍手喝采を浴びる。だがこの上演を依頼した司祭は、聖書の記述を覆す大胆な解釈に戸惑い、続演にあたって脚本の変更を要求してくる。この要求を頑としてはねつけたダニエルは、そのまま劇を続行するが、実力行使に出た司祭により、警察と観客との乱闘に巻き込まれ、磔となった十字架ごと地面に叩きつけられてしまう……。本作は、臓器移植という形でジーザスの“復活”をなぞらえ、そこに“現代社会における人生の意味”という大きな問題を投げかけた問題作でありながら、そのような重厚なテーマにユーモアを交え、生き生きとした軽やかなトーンにまとめあげているのが素晴らしい。

【クレジット】

監督	ドゥニ・アルカン	Denys Arcand
脚本	ドゥニ・アルカン	Denys Arcand
撮影	ギイ・デュフォー	Guy Dufaux
音楽	イヴ・ラフェリエール	Yves Laferriere
出演	ロテール・ブリュトー	Lothaire Bluteau
	カトリーヌ・ヴィルクナン	Catherine Wilkening
	ジョシンヌ・マリー・トランブレー	

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.